

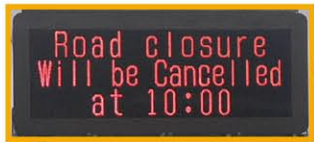
第8期北海道総合開発計画の推進<2>

世界水準の観光地の形成

外国人旅行者の急増、個人旅行化に対応するとともに、鉄道やバス等の公共交通機関と並び重要な二次交通手段であるレンタカーを利用するドライブ観光を推進するため、英語による道路情報提供等の環境整備、快適なドライブを演出する良好な景観形成に取り組みます。

外国人旅行者に優しい環境整備

■道路情報板における英語による道路情報発信



「通行止め解除予告」の英語表示

■交差点標識に観光地名を導入



国道36号狸小路交差点

■高速道路ナンバリング

北海道内の高速道路ネットワークで、路線名に合わせて路線番号を用いて案内する「ナンバリング」を導入することで、訪日外国人をはじめ、すべての利用者に分かりやすい案内をしています。(平成29年3月19日開通の旭川紋別自動車道 丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀬IC間に北海道で初めてナンバリング標識を設置)



高速道路ナンバリング北海道図
※計画区間、未開通区間を含む

■ビッグデータの活用による外国人レンタカー事故対策イメージ

ETC2.0 フロープデータ

- ・ETC2.0フロープデータから外国人レンタカー利用者の利用経路を抽出
- ・挙動発生地点や外国人の生の声を抽出

ヒヤリハット地点抽出



情報提供による対策

- ・警察、市町村等の道路管理者との連携による規制標識の英語表記



北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクリング環境を構築してサイクルツーリズムを推進するため、モデルルートでの試行を通じ、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信を行うとともに、安全で快適な自転車走行環境を創出します。

試行しているモデルルート (平成29年度)



試行で検証している内容 (平成29年度)

- 自転車走行環境の改善
案内看板や路面表示 (矢羽根) の設置
- 受入環境の充実
休憩施設へのサイクルラックや工具等の設置
- サイクリストとのコミュニケーション
コミュニケーションサイトの開設

